



平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月13日

上場会社名 G-FACTORY株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3474 URL http://g-fac.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 片平雅之
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役管理本部長 (氏名) 田口由香子 (TEL) 03 (5325) 6868
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	2,224	2.0	202	△38.6	199	△38.5	133	△27.9
29年12月期第3四半期	2,180	12.0	330	△12.2	324	△7.5	185	△17.5

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 132百万円(△29.9%) 29年12月期第3四半期 189百万円(△11.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	20.46	20.08
29年12月期第3四半期	28.17	27.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	2,973	1,801	53.6
29年12月期	3,146	1,695	53.8

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 1,593百万円 29年12月期 1,691百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年12月期	—	0.00	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,204	10.2	301	△15.1	301	△14.4	187	4.6	28.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年12月期3Q	6,717,500株	29年12月期	6,635,000株
② 期末自己株式数	300,000株	29年12月期	—
③ 期中平均株式数(四半期累計)	6,530,824株	29年12月期3Q	6,583,031株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による継続的な金融政策等から緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、中国をはじめとしたアジア新興国の経済動向、米国等の政策に関する不確実性による影響等、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループの主力取引先である飲食業界におきましては、人手不足を背景とした人材採用関連コストの上昇、企業間競争の激化により、経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。

そのような状況下、当社グループは、ストック型収益基盤の強化を重点施策の一つとして位置づけたうえで、出店費用を抑制できる居抜きを活用した出店や当社グループが賃貸主となるリースの提案促進に取り組んでまいりました。

また、国内の飲食店を始めとする店舗型サービス業の成長をサポートすることを第一に、「夢をカタチに！和食を世界に！」という企業スローガンを掲げ、国内の和食文化を世界の様々な地域へ輸出する架け橋となるため、東京本社の事務所増床及び子会社GF CAPITAL (THAILAND) CO., LTD. の事務所を増床し、顧客獲得・充実したサービスの提供を行ってまいりました。また、当社及び株式会社海外需要開拓支援機構（クールジャパン機構）よりシンガポール子会社GF CAPITAL PTE. LTD. への共同出資を完了し、ASEANへ進出する日系企業のサポート力を強化するとともに、ASEAN統括会社としての機能の強化を図ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,224,743千円（前年同四半期比2.0%増）、営業利益は202,578千円（同38.6%減）、経常利益は199,356千円（同38.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は133,625千円（同27.9%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 経営サポート事業

当第3四半期連結累計期間においては、引き続き収益モデルをフロー型からストック型に転換していくことで継続的な成長を図ってまいりました。引き続き外食産業等の出店意欲は旺盛でありそれらに対応することで、増収となりました。一方、本社増床経費等により減益となりました。

その結果、当セグメントの売上高は1,477,698千円（前年同四半期比2.2%増）、営業利益は285,670千円（同22.7%減）となりました。

② 飲食事業

当第3四半期連結累計期間においては、7月下旬の土用の丑の日へ向けての販促強化、継続したインバウンド需要に対応するための各種対応、顧客への宅配サービス利用数が増加した結果、増収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は747,045千円（前年同四半期比1.8%増）、営業利益は129,763千円（同6.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第3四半期連結会計期間の資産は、前連結会計年度末より173,261千円減少して2,973,650千円となりました。これは主に、リース投資資産が81,730千円、差入保証金が49,358千円、投資その他の資産のその他が20,153千円増加した一方で、現金及び預金が232,779千円、割賦売掛金が82,735千円減少したことによるものであります。

② 負債の部

当第3四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末より279,042千円減少して1,172,214千円となりました。これは主に、長期預り保証金が30,260千円増加した一方で、買掛金が47,325千円、1年内返済予定の長期借入金が17,696千円、未払法人税等が59,724千円、流動負債のその他が96,048千円、長期借入金が93,911千円減少したことによるものであります。

③ 純資産の部

当第3四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末より105,781千円増加して1,801,435千円となりました。これは主に、自己株式が243,933千円増加した一方で、利益剰余金が133,625千円、非支配株主持分が204,655千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年2月13日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,520,567	1,287,787
売掛金	37,007	38,258
割賦売掛金	115,681	32,946
リース投資資産	228,119	309,850
商品	13,074	9,718
その他	170,340	160,773
貸倒引当金	△2,750	△3,280
流動資産合計	2,082,040	1,836,054
固定資産		
有形固定資産	304,215	309,039
無形固定資産	1,806	1,336
投資その他の資産		
差入保証金	668,031	717,389
その他	101,950	122,103
貸倒引当金	△11,132	△12,272
投資その他の資産合計	758,848	827,220
固定資産合計	1,064,871	1,137,596
資産合計	3,146,912	2,973,650

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	106,556	59,230
1年内返済予定の長期借入金	146,142	128,445
未払法人税等	73,234	13,510
賞与引当金	—	4,999
その他	374,221	278,173
流動負債合計	700,154	484,358
固定負債		
長期借入金	193,897	99,985
長期預り保証金	508,761	539,021
その他	48,444	48,848
固定負債合計	751,102	687,856
負債合計	1,451,257	1,172,214
純資産の部		
株主資本		
資本金	378,495	386,379
資本剰余金	323,495	332,467
利益剰余金	986,223	1,119,848
自己株式	—	△243,933
株主資本合計	1,688,213	1,594,761
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	526	401
為替換算調整勘定	3,163	△2,133
その他の包括利益累計額合計	3,690	△1,731
非支配株主持分	3,750	208,405
純資産合計	1,695,654	1,801,435
負債純資産合計	3,146,912	2,973,650

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	2,180,107	2,224,743
売上原価	1,256,681	1,343,658
売上総利益	923,426	881,085
販売費及び一般管理費	593,353	678,507
営業利益	330,073	202,578
営業外収益		
受取利息	302	1,135
協賛金収入	680	786
受取保険金	102	77
受取手数料	217	1,271
その他	610	464
営業外収益合計	1,912	3,735
営業外費用		
支払利息	2,306	1,347
為替差損	3,921	3,954
その他	1,710	1,654
営業外費用合計	7,938	6,956
経常利益	324,047	199,356
特別利益		
固定資産売却益	787	3,247
受取和解金	2,412	54,403
特別利益合計	3,199	57,650
特別損失		
固定資産除却損	—	18,367
減損損失	—	17,203
特別損失合計	—	35,570
税金等調整前四半期純利益	327,247	221,437
法人税、住民税及び事業税	139,565	86,124
法人税等調整額	2,876	△3,693
法人税等合計	142,442	82,431
四半期純利益	184,804	139,005
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△618	5,380
親会社株主に帰属する四半期純利益	185,423	133,625

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	184,804	139,005
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	168	△124
為替換算調整勘定	4,627	△6,003
その他の包括利益合計	4,795	△6,128
四半期包括利益	189,600	132,877
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	190,141	128,203
非支配株主に係る四半期包括利益	△541	4,674

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年3月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式300,000株の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が243,933千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が243,933千円となっております。

(重要な後発事象)

(子会社の設立)

当社は、平成30年6月12日開催の取締役会において、当社連結子会社であるGF CAPITAL PTE. LTD.の子会社(当社の孫会社)の設立を決議し、平成30年10月8日に次の通り設立いたしました。

1. 子会社(当社の孫会社)設立の目的

当社グループは、飲食店等のサービス業を展開する企業に対して、出店時の物件情報の提供や内装設備導入におけるサポートを中心に業容拡大を図っております。また、ASEANエリアへ進出を検討する日系企業をサポートするため、顧客基盤の拡大及び顧客の展開サポートをより強化しており、その一環として、ベトナム社会主義共和国へ進出する日系企業へのサポート力を強化する目的で同国に子会社(当社の孫会社)を設立いたしました。

2. 子会社(当社の孫会社)の概要

(1) 名称	GF CAPITAL(VIETNAM) CO., LTD.
(2) 所在地	ベトナム社会主義共和国ホーチミン市
(3) 代表者の役職・氏名	General Director 片平 雅之
(4) 主な事業内容	本邦飲食業者等の出店サポート等
(5) 資本金	20,274,489,600VND(約97,520,295円)
(6) 設立年月日	平成30年10月8日
(7) 大株主及び持分比率	GF CAPITAL PTE. LTD. 100%(当社連結子会社)